

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年 3月 31日
2次評価日（課長等）	31年 3月 31日

1 事業名	美術考古館学習事業	コード	111112
-------	-----------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 生涯学習課（美術考古館）	作成者 戸谷田剛秀
--------	--------	-----------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	文化・スポーツの振興	施 策	文化・芸術の振興
		予算科目	学習事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	博物館法第3条7		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	子どもから大人まで幅広い年齢層が、気軽に芸術と歴史や考古に触れ、学習の成果を発表することで、生涯学習を推進する。		
目的	対象者	市民及び来館者	
	意 図	より多くの人々が美術、考古を楽しく体験学習し、美術考古館に対する興味を深める。	

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>・市民や来館者等を対象としたワークショップ、各種イベント等を開催</p> <p>・だるまを作ろう（4月3日）・オリジナルフレームを作ろう（4月21日）・カノラータによる弦楽四重奏コンサート（4月28日）・春市関連企画 くるくるレインボーを作ろう（5月3日）・折り紙はんこで母の日のお手伝い券を作ろう（5月13日）・安藤美香ワークショップ（6月3日）・重要文化財指定記念 とってちゃんを作ろう（6月10日）・きつね祭り特別企画 貝殻とレジンで海のキーホルダーを作ろう、火おこし体験（7月28日）・軽トラ市特別企画 スーパーボールすくい、UVレジン（8月5日）・太鼓祭り特別企画 うちわ&くるくるレインボーを作ろう（8月13日）・かわいい立体アルバムを作ろう（9月15日）・のびる粘土で絵を描こう（9月22日）・諏訪湖まちじゅう芸術祭 関連イベント「秋のMuseum Concert」（9月30日）・ハロウィンのバッジを作ろう（10月6日）・彫刻クリーニング（岡谷東高校）（10月15日）・城南小2年生 缶バッジづくり（10月19日）・秋市関連企画 スクラッチ画でハロウィンランタンを作ろう（10月28日）・小井川小特別支援・顔面把手ちゃんを作ろう（11月2日）・上の原小特別支援 顔面把手ちゃんを作ろう（11月9日）・伊東美和講師による「インドネシアのパティックアート色づけ体験」（11月11日）・まゆの花を作ろう（11月25日）・窪田やよい講師による「ペーパーキリッパでクリスマスのフレームを作ろう」（12月8日）・山本英津子講師による「ほっこりする筆文字で手描きの年賀状を作ってみよう」（12月9日）・縄文の消しゴムハンコを作ろう（12月15日）・幸運の水引しおりを作ろう（1月12日）・信濃刀画の会講師による「エコで楽な木版画を」（1月26日）・高倉美保講師による「紙のちいさいいきものたちを作ろう」（2月2日）・バレンタインボックスをつくって想いをとけよう（2月9日）・春休みだよ春のワークショップ ショップまつり（3月16・17日）・日達れんげ講師による「切り絵で春のモチーフを作ろう」（3月23日）</p> <p>・体験的絵画教室1. 鉛筆デッサンの基礎（5月12日・19日・26日）</p> <p>・体験的絵画教室2. 私の好きな絵（模写）（6月9日・16日・23日）</p> <p>・体験的絵画教室3. 削って絵を描く（7月7日・14日・21日）</p> <p>・体験的絵画教室4. 花を描く（日本画）（10月13日・20日・27日）</p> <p>・体験的絵画教室5. 土偶を描く（11月10日・17日・24日）</p> <p style="text-align: right;">参加者 計903名</p>		
前年度の課題への対応	昨年に引き続き、館長が講師となり大人向けのワークショップを開催するとともに、地域イベントにも協力をおこない、学校等の子ども達にも各種ワークショップにより楽しんだ。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
	区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 活動指標（指標名）	開催日数				単位 日
	実績値	35	27	46	
	*指標の説明	ワークショップ等の開催日数			
② 成果指標（指標名）	参加者数				単位 人
	目標値	340	340	340	340
	実績値	737	960	903	
	達成度	216.8%	282.4%	265.6%	
	*指標の説明	ワークショップ等の参加者数			
	*目標値の設定方法の説明	予算			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	228,911	152,683	246,881	625,000
経常経費	184,591	127,351	128,992	104,000
臨時的経費	44,320	25,332	117,889	521,000
* 臨時的経費の説明	縄文復元家屋設置			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
正規職員の人数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20
③ 合計コスト(①+②)	1,828,911	1,752,683	1,846,881	2,225,000
前年度比		95.8%	105.4%	120.5%
財源内訳				
一般財源	1,710,911	1,572,343	1,679,311	2,097,000
特定財源	118,000	180,340	167,570	128,000
* 特定財源の説明	ワークショップ等実費徴収金			
④ 活動一単位あたりコスト	50,988	63,976	37,587	
前年度比		125.5%	58.8%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 94.1%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 265.6%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <p>敷居が低く、気軽に立ち寄れる美術考古館として、子どもから大人まで楽しめるワークショップ及び学習事業を開催する必要がある。また、地域のイベント等と連携し、街なかの賑わいに寄与する必要がある。</p>	
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>特定の人だけではなく、多くの人に参加してもらえるよう、内容にも創意工夫をおこない、美術考古館の周知及び学習に繋げる。また、積極的に出張ワークショップ等をおこない、ものづくり、美術等に触れる機会づくりの提供が必要。</p>	
	改善開始時期	2019年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---